ものなりと傳するも、何れにせよ勞働組合唯一の殘蟲に龜裂を生じ來りたる次第なるを以て組合側の錯愕甚しきものあり折柄東京より來合せたる松岡、小泉等も參加し小岩井等と共に種々協議を試むる所ありて結局死力を盡して組合の崩壞を防守する事となりしもの、如く脫會者に對して一流の手段に依りて復會を强要すると共に他面工場主に對しては小泉主として交涉の衝に立ち頗る穩和の態度と甘言とを以て勞働組合側より自發的に作業分量の制定（本社爭議前のものゝ一割增）と在場時間を午后二時までに延長することを申出でて一擧事業主側の攻勢的態度を緩和することに專念し斯くて事實上團體協約の實施を爲さんとせるものゝ如くなりき

工場主側に於ては組合側の右の申出に對しては何等の回答を與へず一方組合脫會者も復會せり等傳へられたりしも事實は必ずしも然らさりし如く、かくて勞資双方共何等際立ちたる態度を示すことなく

野田醬油株式會社